

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	046(256)3700
担当部課名	生涯学習部	相武台公民館		
事務事業名	公民館活動費 相武台公民館 市民健康まつり委託料		事業コード	15110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	~63 年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

教育基本法 第7条、社会教育法 第20条、相模原市立公民館条例

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
相武台公民館区内の市民の健康づくり・体力づくりの普及と市民の協調親睦を促進し、健康で明るい地域社会の形成に役立てるために実施する。	主に管区内市民
	対象数 約22,000人
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
体力測定コーナー 健康相談コーナー ストラックアウト ゴルフ なわとび レクリエーションコーナー(ヨーヨーつり・剣玉・輪投げ・フラフープ・竹馬・大声大会・長靴飛ばし大会) ビーチボールバレー 等	なし
	(5) 個別計画の概要
	計画名 相武台公民館運営方針(事業計画)
	計画年次 年度~ 年度
	毎年、相武台市民健康まつり実行委員会で事業計画を決定し、事業実施をしている。

4 評価指標

指標名	参加人員		
指標式			
指標設定の意図	魅力ある事業内容により、多くの参加者を集め、健康について改めて考えるきっかけづくりの場とした。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	1,500	1,700	a 700	b 1,700	1,800
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	150	150	150	150
	人員・時間数				
	人件費				
	その他経費	100	100	100	100
	合計	250	250	250	250
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1) 達成度・・・目標をどれだけ達成したか		
評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 41.2%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{700.0}{1,700.0} \times 100 = 41.2\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
--	----------------------------	----------------------------

理由： 緑台小学校の校庭で実施予定だったが、当日は雨天であったため規模を縮小して体育館で実施した。

(2) 必要性・・・時代変化に適応した事業内容か

評価 B ▼	A : 適応している	理由： 今回で22回目の実施となるが、毎回事業終了後に実行委員で反省会を行い、内容の見直しをして、次回の実施に生かしている。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性・・・費用対効果は妥当か

評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 健康まつりの委託料150,000円のほか、自治会からの負担金100,000円で実施。また、地域住民150名程度の実行委員(無報酬)の協力で経済性は高いといえる。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性・・・県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か

評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 現在でも、地域住民主体で実施しているが、より一層の住民主体による事業展開が図れるよう役割分担の見直し等はかかる必要がある。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度・・・対象市民の満足は得られているか

評価 B ▼	A : 満足できる	理由： 事業の内容が、予算等の都合もあるが大幅な変更が出来ないので、一部飽きられているものもある。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性・・・当該事業は上位の施策を実現する上で有効か

評価 A ▼	A : 有効である	理由： 生涯学習機会の充実という上位の施策と市民健康まつりとは、その施策を推進するための1事業として生涯学習事業への参加のきっかけ作りとして有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 参加者の増加
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 市と地域との事業費の負担割合をこれ以上地域に多く負担させることは困難。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較		健康について市民が考える機会を提供することは、今後とも行政として必要なことであり、一定の成果をあげてきたと考える。しかしながら、その手法については、時代の変化に対応した内容に変えながら取り組む必要がある。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

変更点